

一学校におけるスマートフォンの管理の在り方

かえつ有明高等学校2年 高木優梨香 平田彩花 井下田彩果



学生のスマートフォンの所持率の増加に伴い、全国の学校では持ち込みのルールやその管理方法について議論が行われています。そこで私たちは、学校によって異なるルールや管理の仕方に対応した、より良い学生のスマートフォンの管理の仕方とは何かについて考えました！

①テーマの背景と問題

2019年2月：文部科学省
「小中高へ携帯電話やスマートフォンを「原則禁止」とした2009年の文科省通知を見直す」
→学校へのスマートフォンの持ち込み・使用が広がっていく？

スマートフォン=情報の塊
学生のスマートフォンをどう管理するのかを
考えていく必要があるのでは？

一考えられるスマホの持ち込みにおける課題一

- 保護者→緊急時に連絡がつくようにしておきたい
→学校では授業に集中してほしい
 - 生徒→自分たちも納得できるルールにしてほしい
ex)利用を制限されたくない・プライバシーでもあるので自己管理にしてほしい
 - 学校→スマホ持ち込みルールの策定に苦慮
→スマホの管理方法が分からない
→破損や緊急時に対するリスクを負いたくない
- まずは学校現場の声を聞いてどのようなニーズ・課題があるのかを明確にする必要がある・・・
→アンケート実施

②アンケートと結果

対象：かえつ有明中・高等学校の生徒507名 教員15名
項目：ルール満足度
学校にいる間(授業中・休み時間)のスマホ 利用について
学校でのスマホの活用について



一結果をまとめること一

スマホを預かることについて

生徒：スマホはプライベートなもので、人に預けたくない！
先生：管理も大変だし、破損のリスクを負いたくない！

授業での活用について

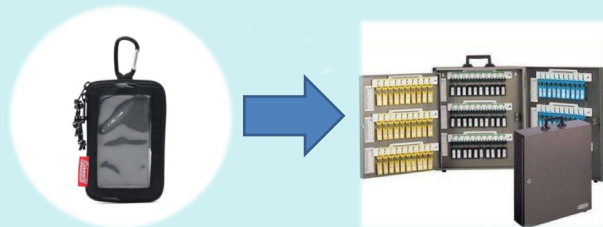
先生&生徒：授業で活用すれば学習の幅は広がりそうだが、いちいち職員室から持ってきて使い終わったら再回収などは手間がかかる。本来の使用目的以外で使ってしまうそう・・・

休み時間に使うことについて

生徒：もちろん使いたい！が、使い過ぎてしまうかも・・・
先生：メリハリがつけられるのであれば良いのでは？

③商品案

個人管理用スマホポーチ 壁掛けスマホ管理ロッカー



スマホはプライベートなもので、人に預けたくない！
管理も大変だし、破損のリスクを負いたくない！
いちいち職員室から持ってきて使い終わったら再回収などは手間がかかる。

→基本は生徒の自己管理にし、
ポーチに入れて簡単にはさわれない様に！

本来の使用目的以外で使ってしまうそう・・・
もちろん使いたい！が、使い過ぎてしまうかも・・・
メリハリがつけられるのであれば良いのでは？

→学習に不必要な時は生徒のポーチを壁掛け(必要に応じて施錠)のロッカーにひとまとめにし管理！

④まとめ

昨今、中高生のスマートフォン利用者は激増しています。スマートフォンを使用し、学習の効率向上、緊急時の連絡などスムーズに行うことができる時代になりました。しかし、学校で使用すると、学習中にSNSを使用してしまう。教師が生徒の私物である携帯を破損してしまう。等の問題点もあります。そこで私たちが考えたこのマルチケースは、自己管理能力向上、学習面でのスマートフォン使用のサポートとなります。また、マルチケースはカラーリングを増やしたり、デザインをアレンジできるクリアタイプ等をもうけ愛着をもてる仕様になりました。スマートフォンには個人の情報が詰まっています。

学校現場でスマホをどう使用するのか、どのように管理していくのか、私たち生徒と学校とが意見を交換し、策定していくことが必要なのではないでしょうか？